

授業実践の記録

8年 総合的な学習の時間

「地域とともに学ぶ防災～地域の防災を見つめなおす～」

- 8年生では理科・社会・家庭・保健体育など様々な教科で防災を学習している。
なぜ、複数教科の視点から防災について学ぶのか、その必要性を考える
- 村長や防災管理官による防災講話から、地域における防災対策の重要性を学ぶ
- 自分たちの地域を歩き、危険箇所を撮影してハザードマップと参照しながら防災マップを作成する

授業の様子



防災に関して、自分たちにもできることや取り組んでみたいことを考える。球磨川流域立体地図を用いて地形を観察し、「球磨村の災害リスクの高さ」について考え、疑問を出し合う



村長による防災講話。令和2年豪雨による被害や被災当時の村の動きについて説明していただく。また、生徒からの今後の復興計画に関する質問に答えていただく



地域の危険箇所を撮影し、球磨村ハザードマップで危険度を確かめながら、オリジナルの校区防災マップを作成する



防災管理官による防災講話。令和2年豪雨の状況と照らし合わせ、災害時における適切な行動について解説していただき、自分たちの地域に応じた「マイタイムライン」を作成する

参考資料・教材等

球磨村ハザードマップ、球磨川流域立体地図